

※ 参考資料

1. 出展者募集案内資料

FHM2007 について

◆はじめに◆

2007年8月22日(水)から25日(土)までの4日間、マレーシアの首都クアラルンプールで「FHM(フード&ホテルマレーシア)2007」が開催されます。

この「FHM2007」におきまして、農林水産省の委託事業(農林水産物等海外販路創出・拡大事業)により「ジャパン・パビリオン」が設置されます。マレーシアの首都クアラルンプールには多くの日本食レストランがあり、地元の消費者の間でもますます人気が高まっております。当展示会における「ジャパン・パビリオン」ではこうした追い風を背景に、東南アジア市場での販路拡大を狙う、または今後新規参入を予定している企業・団体を対象とし、日本農林水産物、加工食品、飲料のプロモーションのための理想的なプラットフォームを提供いたします。この機会を是非ご活用ください。

◆展示会開催概要◆

見本市名： FHM2007 (フード&ホテル マレーシア)
会期： 2007年8月22日(水)～25日(土)
会場： KLCC (クアラルンプール・コンベンションセンター)
主催： MES (マレーシア・エキシビション・サービス)
規模： 7,600 m² (総展示面積)
出展者数： 外国企業：481社 国内企業：179社 (2005年)
来場者数： 15,153人 (2005年)
出展品目： 一般食品、菓子、飲料、食品機械、ケータリング関連機器、その他
ウェブサイト： www.foodandhotel.com

◆ジャパン・パビリオンの概要◆

【基本方針】

東南アジアではホテル内レストランを始め和食レストランが街中に数多くあり、小売店などでも日本の食料品を目にすることが多くなりました。日本食はヘルシーで品質に優れ、そして何より「おいしい」と世界中で高い評価を受けておりますが、東南アジアの消費者の間でもこの認識は定着してきております。「ジャパン・パビリオン」はこの日本食の高品質なイメージを展示会場でも再現出来るようにブースデザインにも工夫を凝らします。従来の基礎小間方式ではなく、視覚的な品質アピールはもちろん出展者と来場者が快適な商談を行える共有スペースを設けるなど、ハイレベルな空間を演出します。また、ブース内

では来場者誘導のための料理ショーなども計画しております。

【参加のメリット】

1. 出展料（スペース代、ブース施工代）が無料です。
2. 通訳を各出展者に1名無料で配備します。（日本語 ⇄ 英語）
3. ビジネスマッチングを斡旋いたします。
3. 近鉄エクスプレスが渡航・輸送関係を全面的にサポート。海外初出展でも安心してビジネスに専念できます。
4. 会期中、近鉄エクスプレスのスタッフが会場に常駐いたします。

【運営事務局】

名称： ㈱近鉄エクスプレス 開発部内「TJプロジェクト」

担当者： 花澤・橋爪

TEL： 03-5293-1980

FAX： 03-3215-8004

E-Mail： tastejapan@jp.kwe.com

所在地： 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビルヂング 1階 〒100-0004

出展募集のご案内

【募集要項】

- 募集スペース： 最大 15 社・団体 ※ 小間形式ではありません
- 対象出展物： 日本産農林水産物、日本製加工食品・飲料及び日本産農林水産物を主原料とした加工食品・飲料（マレーシアにおいて輸入・販売できるものに限る）
- 出展資格： 上記対象出展物の生産者、加工業者、輸出・輸入業者等
- 出展料： 無料

【出展者の決定と展示スペースの割振り】

- 出展者及び出展物の選定は、本事業の趣旨等を踏まえ、運営事務局（近鉄エクスプレス）が農林水産省とともに行います。
- パビリオンにおける展示スペースの割振りは、出展物の内容により運営事務局が決定いたします。必ずしも出展者のご希望に沿えないこともございますので、予めご了承ください。

【経費負担区分】

A. 運営事務局が負担する主な経費

- パビリオン施工・設営・装飾
- 共用商談スペース、及び什器（テーブル、椅子、冷蔵庫などを含む）
- 電話・FAX・インターネットなどの通信設備
- 通訳（各出展者につき1名）
- 来場者向け「ジャパン・パビリオン」パンフレットおよび出展物の紹介用ウェブサイトの

作成

マレーシアおよび周辺諸国でのパビリオン販促活動

B. 出展者にご負担分いただく経費（※ 原則としてA. 以外の経費で主要なものは下記の通りです。）

- 輸送経費・・・輸出梱包及び見本市会場までの輸送、また見本市終了後の輸送。
- 輸入税、通関費用、輸送保険料などの物流費
- 出展者が独自に設置、レンタルする追加備品
- 社員、スタッフの渡航費、宿泊費
- 各出展者の販促物、各自のPR資料製作費
- 出展者の都合により発生する個別経費、及び任意保険など

※ 詳しくは「海外見本市出展規程」をご参照下さい。

【アンケート等へのご協力】

出展者の皆様には、会期前後及び会期中に運営事務局が行うアンケートなどにご協力いただきます。現地ディストリビューターなどと共同で商談する場合も、出展者の実績として成果を記載願います。また、出展者の皆様には農林水産省が別途実施する農林水産物等海外販路創出・拡大事業のうちのフォローアップ調査（聞き取り調査、アンケート調査等）にご協力いただきます。当該調査の受託業者から調査依頼があった際にはご対応願います。

【申込方法】

- 本「出展参加のご案内」、「海外見本市出展規程」を必ずご確認ください。
- 申込書・承諾書（社印も捺印下さい）を事務局宛にFAX（03-3215-8004）にてお送りください。
- FAXを送付されてから翌々日までに、運営事務局担当者から電話連絡がない場合には、恐れ入りますが下記までお電話ください。

03-5293-1980 担当：花澤・橋爪

【申込締切日】

2007年7月17日（火） 必着

（ただし、申込が大幅に予定数を上回る場合は、締切前でも募集を締め切ることがあり得ますのであらかじめご了承ください。また、申込が予定数を上回らない場合であっても、出展物としてふさわしくないと考えられる場合には、出展をお断りすることがございます。）

【審査結果の通知方法】

7月下旬に出展決定の通知を郵送致します。郵送をもって審査発表に代えさせていただきます。

【出展までのスケジュール（予定）】

募集締め切り：7月17日（火）

説明会用資料の送付：7月20日（金）
説明会：7月27日（金）
渡航手続きの締め切り：7月31日（火）頃
出展物の輸送締め切り：8月10日（金）

【輸送担当】

㈱近鉄エクスプレス 千代田フォワーディング営業所
原則として航空便輸送

【注意事項】

- 会期中、必ず出展者の社員が各自の展示スペースを担当し、商談・販促活動をしていただきます。
- 見本市会場で生じた盗難については、運営事務局は一切責任を負いません。
- 「出展参加のご案内」および「海外見本市出品規程」に定めのない事項に関しては、運営事務局がその対応を決定いたします。
- 政府の方針等により内容が変更する可能性がある旨予めご了承下さい。
- 戦争、政情不安定、天災、伝染病など、不可抗力により会期を変更、または本展示会への出展を解除することがあります。
- 本規程にない事項及び補足事項は「海外見本市出展規程」に定めます。

お問い合わせ先（運営事務局）：

名称： ㈱近鉄エクスプレス 開発部内「TJプロジェクト」
担当者： 花澤・橋爪
TEL： 03-5293-1980
FAX： 03-3215-8004
E-Mail： tastejapan@jp.kwe.com
所在地： 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビルヂング 1階 〒100-0004

2. 出展者説明会資料

出展者マニュアル

はじめに

本「出展者マニュアル」には、出展に関する諸事項についての説明、必要事項、必要な手続きなどが収録してあります。この「出展者マニュアル」をご熟読いただき、出展のご準備・作業を円滑にお進めいただくことをお願いいたします。

なお、この「出展者マニュアル」に記載のない事項やご不明な点につきましては、4ページの各担当者にご相談ください。

主な問い合わせ先

■ 展示会全般のお問い合わせ

株式会社 近鉄エクスプレス 「TJプロジェクト」事務局
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビルディング1階
TEL (03) 5293-1980 FAX (03) 3215-8004
E-Mail: tastejapan@jp.kwe.com
担当: 花澤/橋爪 (平日午前9時から午後6時)

■ ブースのお問い合わせ (展示スペース、必要な設備など)

ケルンメッセ株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1 虎ノ門40MTビル9階
TEL (03) 5405-2202 FAX (03) 5405-2203
E-Mail: takagi@koelnmesse.jp
担当: 高木 (平日午前9時から午後5時半)

■ 輸送に関するお問い合わせ

株式会社 近鉄エクスプレス 千代田フォワーディング営業所
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-23-2 神保町錦明ビルディング
TEL (03) 3234-7601 FAX (03) 3288-4701
E-Mail: kazuki.terao@jp.kwe.com
yosuke.miyazaki@jp.kwe.com
seiko.ohara@jp.kwe.com
担当: 寺尾/宮崎/尾原 (平日午前9時から午後6時)

■ ツアーに関するお問い合わせ

近鉄日本ツーリスト株式会社 中央法人旅行支局
〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1 アルカイースト18階
TEL (03) 6658-1031 FAX (03) 6658-1032
E-Mail: hattori942163@mb.knt.co.jp nishihara915085@mb.knt.co.jp
担当: 八鳥 (はっとり) / 西原 (平日午前9時15分から午後6時)

会期中の緊急問合せ先 (7/20~7/25)

* 出展担当の方々への緊急用であり、
伝言などはお受けできません。

東京	近鉄エクスプレス	花澤	03-5293-1980
マレーシア	近鉄エクスプレス	中田	+60-(0)13-250-5795
		橋爪	+60-(0)13-353-1712
	ケルンメッセ	高木	+60-(0)13-353-1681
	近鉄エクスプレス販売	梅田	+60-(0)13-353-1157
	近鉄エクスプレスマレーシア	中野	+60-(0)19-387-4679
		池原	+60-(0)12-276-9977

展示会開催概要

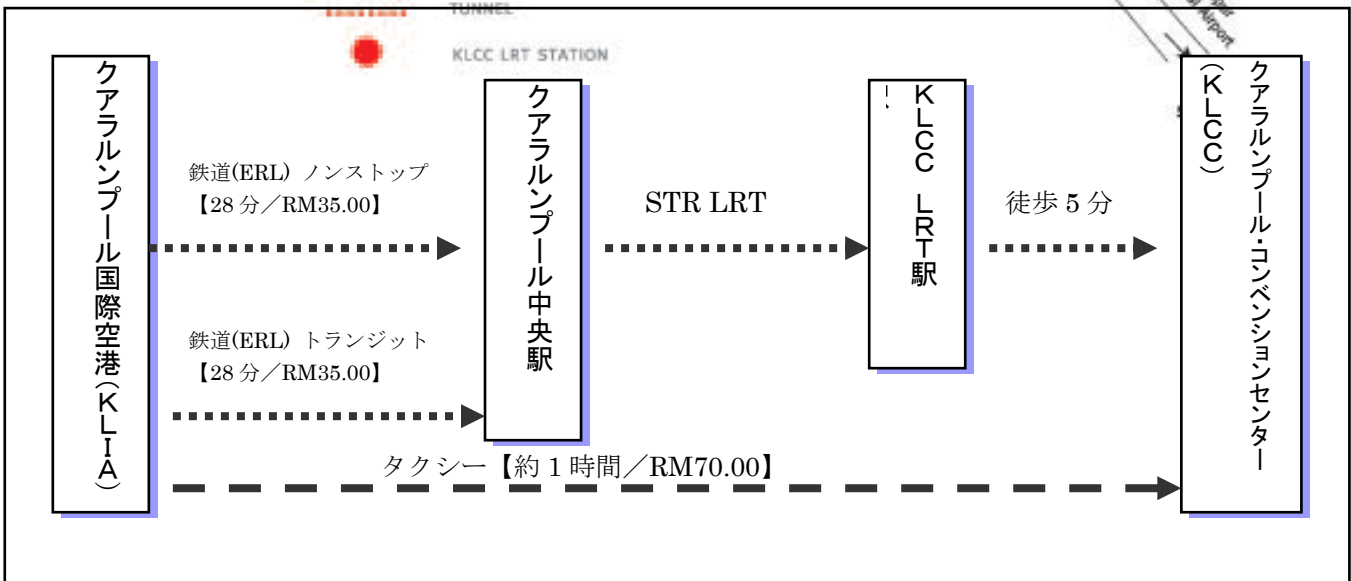
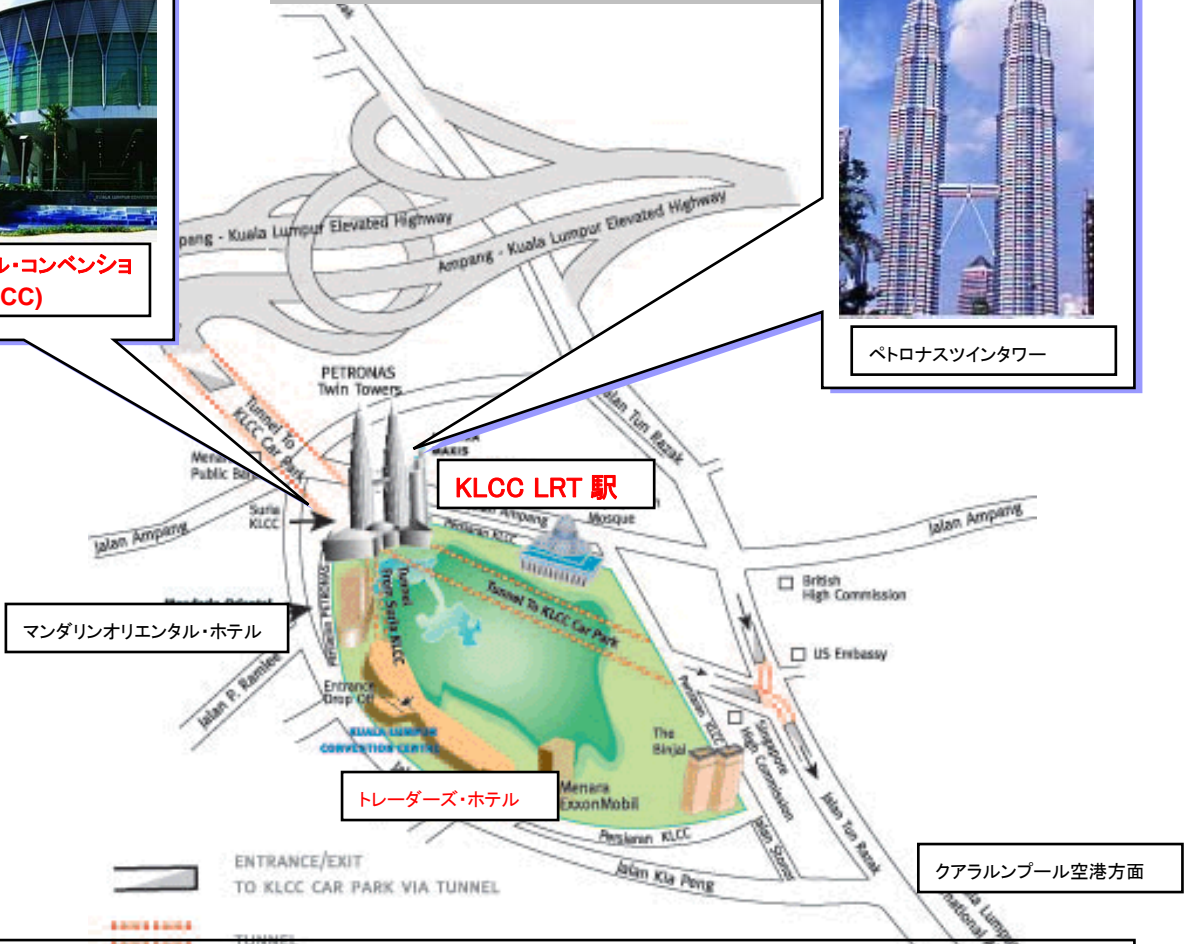
見本市名	FHM2007 (フード&ホテル マレーシア 2007) Food and Hotel Malaysia 2007
会期	2007年8月22日(水)～25日(土) 10:00am ～ 6:00pm (22 ～ 24日) 10:00am ～ 5:00pm (25日)
会場	KLCC (クアラルンプール・コンベンションセンター) Kuala Lumpur Convention Center
主催	MES (マレーシア・エキシビション・サービス) Malaysia Exhibition Service
規模	7,600 m ² (総展示面積)
出展者数	マレーシア以外の外国企業：481社 マレーシア国内企業：179社 (2005年)
出展者内訳	日本、オーストラリア、中国、韓国、ノルウェイ、シンガポール、台湾、トルコ、米国のパビリオンを含む700出展者を予定 (2005年 650社)
来場者数	15,153人 (2005年)
来場者内訳	マレーシア及び海外の食品輸入業者、ホテル、レストラン関係者
入場	関係者のみ対象。入場無料。 ※ Tシャツや、ノースリーブ、スリッパなどの着用者は入場不可
出展品目	一般食品、食料品、菓子、飲料、食品機械、ケータリング関連機器、その他

共済イベント	Bakery & Confectionery Malaysia 2007
	Halal Food Asia 2007
	Gourmet Food & Wine Village
ウェブサイト	http://www.foodandhotel.com/

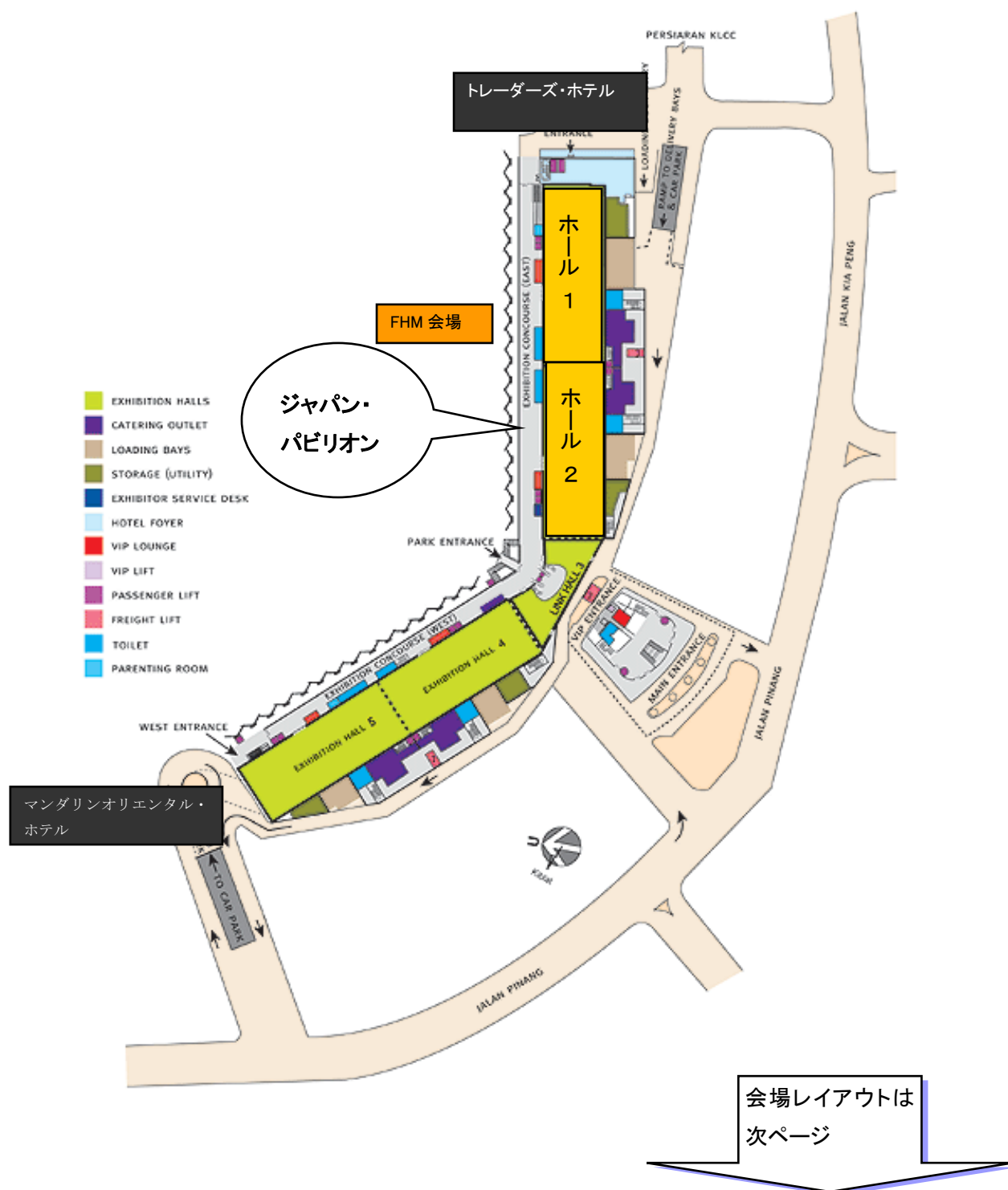
展示会場へのアクセス



FHM2007 が開催されるクアラルンプール・コンベンション・センター (KLCC)は、市の中心地にある 1 万平米の最新開発地区です。展示会場の詳細は公式HPをご覧ください。
<http://www.klccconventioncentre.com>

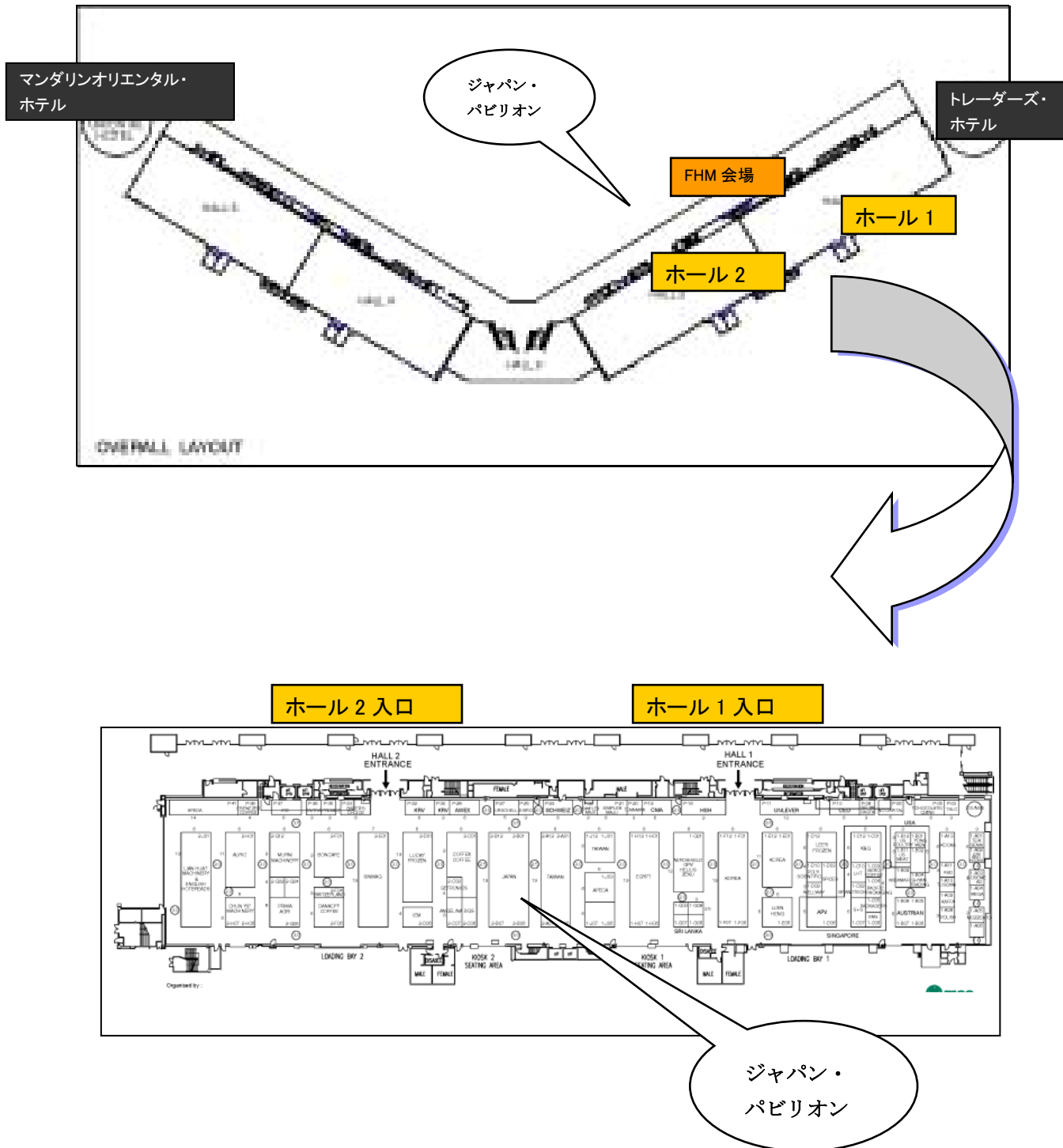


■ FHM 会場:KLCC 東ウイング 1階(ground floor)ホール 1 & 2

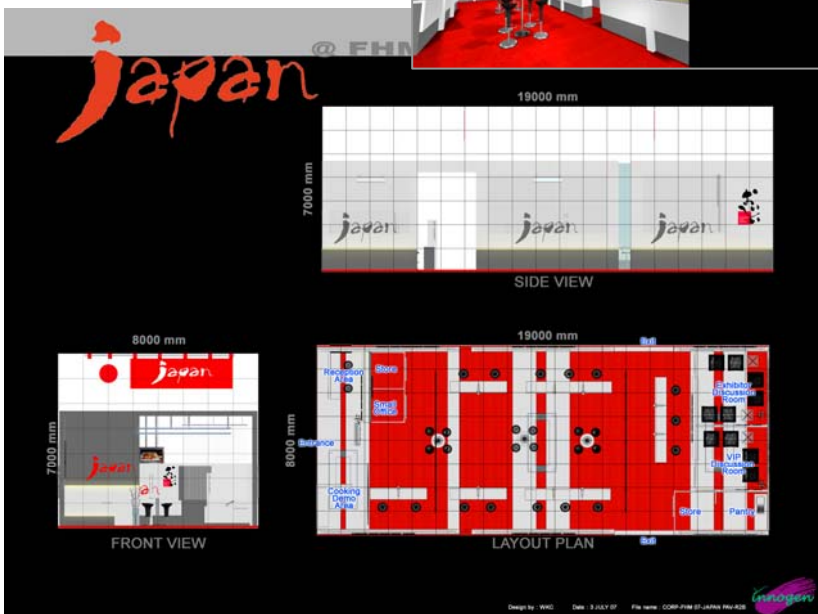
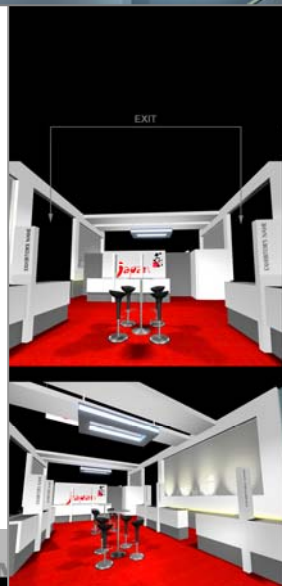
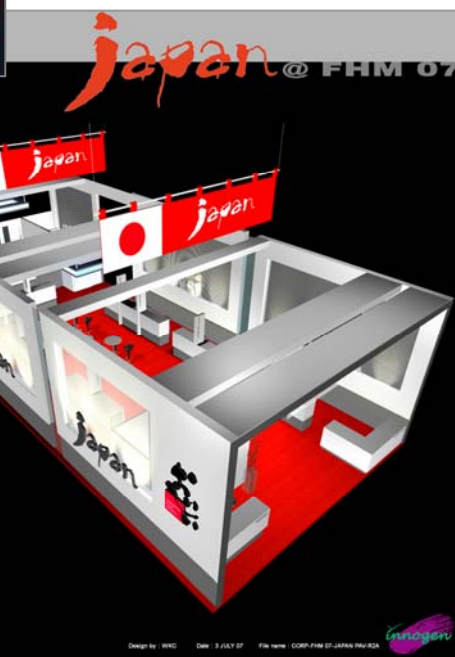


FHM 会場レイアウト

■ FHM 会場:KLCC 東ウイング 1階(ground floor)ホール 1 & 2



ジャパン・パビリオン イメージ



ジャパン・パビリオン レイアウト

形式 半透明パネルを利用したハーフクローズド (コマ割り展示ではありません)

面積 8 x 19 m (152 平米)

設備 A) 受付

B) 料理ショー (日にメインショーを2-3回予定)

C) 出展者ゾーン (12社)

D) 商談コーナー (出展者ゾーン前、商談室、VIP 商談室)

E) ディスプレイパネルによるプロモーション (3画面を予定)

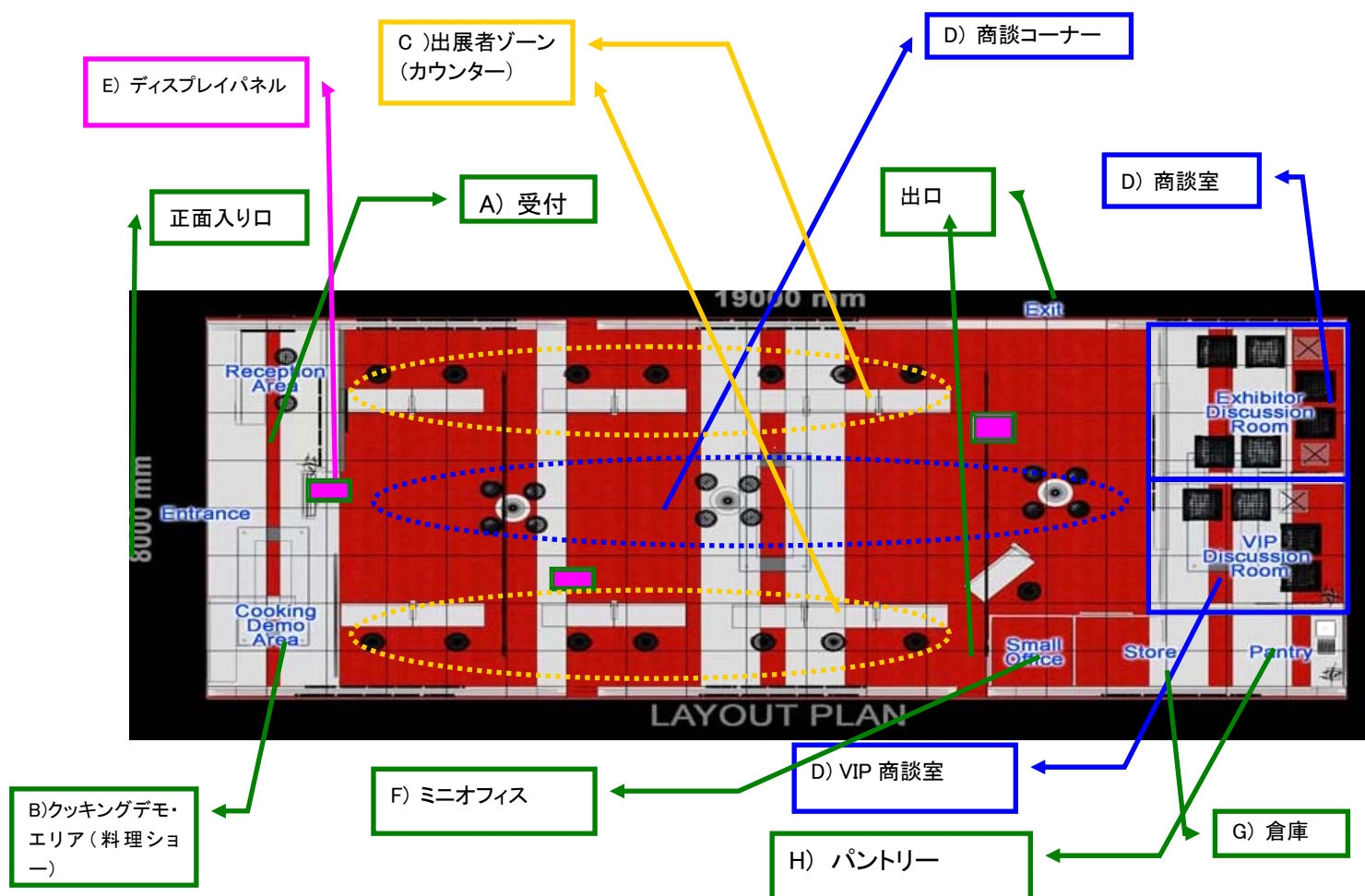
F) ミニオフィス

G) 倉庫

H) パントリー

◆ レイアウトは変更の可能性がございます。

◆ 展示者の配置につきましては現在調整中です。追ってご連絡申し上げます。



ジャパン・パビリオン スケジュール【8/20(月) - 8/26(日)】

2007年7月21日現在

日時	8/20(月)	8/21(火)	8/22(水)	8/23(木)	8/24(金)	8/25(土)	8/26(日)
	到着	搬入	展示会第1日	第2日	第3日	最終日/撤去	帰国
7:00		各自朝食	各自朝食	各自朝食	各自朝食	各自朝食	各自朝食
8:00		9:00 会場入口にて出展者入館証					
9:00							
10:00		配布	9:00 ジャパン・パビリオン前集合 連絡事項などお伝えします。				
11:00	日本からクアラルンプールへ	搬入及び陳列					
12:00	(個別手配)						
13:00							
14:00			FHM2007 ジャパン・パビリオン	FHM2007 ジャパン・パビリオン	FHM2007 ジャパン・パビリオン	FHM2007 ジャパン・パビリオン	12:00 ホテルチェックアウト
15:00							
16:00			10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-17:00	
17:00		商談 通訳 教育					
18:00	空港から専用バス↓						
19:00	トレーダーズ・ホテル到着		☆ハッピーアワー (プレス向け)			17:15 返は撤解体作業は禁止	
20:00							

21:00 22:00	チェック イン			☆ハッピーア ワー (VIP 招 待)		17:15 電気 と水が止ま る	クアラル ンプール から日本 へ
			エグジビタ ーズナイト			撤収作業	(個別手 配) ↓
			出展者交流 会				
							8/27 日

※ スケジュールは頻繁に変更される可能性がございます。毎朝9:00の連絡時に、最新版をお配りいたしますので、右上の更新日にご注意ください。

会場における流れ

● セキュリティー

- ① 出展者入館証は、搬入日 8 月 21 日の 9 時に、会場入り口にて配布いたします。
- ② 会場内では、出展者入館証は常に携帯するようにして下さい。
- ③ パビリオン内には荷物が置ける小さな倉庫がありますが、貴重品は必ず携帯し、自己責任で管理願います。
- ④ 会場は夜 9 時に全館クローズした後、翌朝 9 時まで再入館できません。会場に忘れ物をしないように気をつけてください。高額な物品は必ずいったん会場から持ち帰るようにして下さい。(ただし、冷蔵庫と冷凍庫は 24 時間作動しています)

● 来場者動線

- ① ジャパン・パビリオンの入口は、ホール 2 のエントランスから程近いメイン通路に面しています。
- ② 基本動線として、入口左手の受付で係りの者が名刺を頂戴してから、パビリオン内にご入場いただきます。
- ③ ご商談いただく際には、カウンターに備えたスツールの他、中央に配置された丸テーブルをご利用いただけます。
- ④ 特に重要なご商談には、パビリオン内の別室（商談室とVIP商談室）をご用意しています。

- ⑤ パビリオン内の商談の場がいっぱいになった場合は 2 階に打合せ用のスペースを確保しています。
- ⑥ 出口は奥両脇に配置。基本的には入口から入っていただきますが、出口からのパビリオン入場も可能とします。
- ⑦ 当日は、パビリオン内が混雑する事が予想されます。各自人の流れを妨げないように、展示配置物、備品などにご注意頂きたくお願い申し上げます。

● 展示の仕方

※ 個別に事務局がご相談させていただきます。

● 試食などデモンストレーション

- ① 試食デモンストレーションを積極的に行って、来場者にアピールして下さい。
- ② 個別の調理は専用のパントリーにてお願い致します。
- ③ 食べ物をブースに運ぶ際には人や物にぶつからないよう十分注意してください。
- ④ 上記以外に、ホットプレートなど調理器具が必要な場合は、事前にブース設営担当（ケルンメッセ 高木）までご相談ください。

諸注意

以下展示会ご参加にあたって特にご注意いただきたい点です。

● マレーシアにおけるタブー

- ハラル(Halal)に注意し、イスラム教徒の来場者にハラム(Haram)の食べ物を勧めないこと。
(イスラム教徒は、不浄とされる豚の肉や脂を使用した食品、酒・みりんなどのアルコールに触る事ができません)
- 左手で握手したり、試食を進めたりしないこと。
(左手は不浄とされています)
- 人の頭にさわらないこと。
- 男性から女性に握手を求めないこと。
- 人差し指で人を指差さない事

● ジャパン・パビリオンにおけるルール

- ジャパンブース内では和をもって行動しましょう。
(各展示者が協調しあい、気持ちの良い商談の場としましょう。なお、重要なお知らせは毎朝 9:00 のミーティングにて連絡いたしますので、必ず参加して下さい)

- ブース内で大きな声や音を出さないで下さい。
- ブース内での飲食は基本的に禁止です。
(デモンストレーションや、水分補給以外の食事は会場外でお摂り下さい)
(KLCC会場内では、展示品以外の飲食物の持ち込みは原則禁止されています)

● お願い

商談の成果など展示会開催の後に調査の上、レポートとさせていただきますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

来場者誘致

今回のFHM2007では、「真の目的訪問者」を数多く誘致し、商談のヒット率を高めるという点を重視しております。このため、会期の前、中、後を通じて数々の情報戦略を考えております。

ダイレクトメール

日本パビリオンの概略と出展者の皆様の会社名、出展品目のサマリーを記載した案内書をDMにて可能な限り広範囲に配布します。

配布予定先：

- マレーシア国内有望来場者 約1,500部
- 近隣国有望来場者 約1,000部
- 出展者個別配布用 約1,000部

配布予定時期： 7月末日



出展者の皆様にも、できるだけ多くの部数をお渡しできるようにいたしますので、まずは必要部数をお知らせください。

本プロジェクト専用の英文ご案内サイト「tastejapan.com」

出展者の皆様のプロフィールや商品情報をご案内するサイトを構築、有望来場者に対して

来場前にこのサイトへの誘導を積極的に行ってまいります。

(FHM2007 終了後も約半年間は継続予定)

商談のための基礎情報の提供の場として、また、皆様の会社のホームページへのポータルとしてのご利用をお考えください。



各出展者の皆様のページは、皆様からいただく情報（文章や写真など）で作りますので、今回ターゲットとされるバイヤーやチャンネルを意識して、魅力あふれる情報をお寄せください。なお、サイトの閲覧者がそれぞれの出展者の皆様のページからお問い合わせのメールを送れるようになっております。

サイト公開予定： 7月末日より順次

「Show Preview」、[「Show Directory」](#)

本展示会の主催者（MES 社）が制作します。Show Preview は広範囲にわたって配布、また Show Directory は来場者全員に配られます。ここにも上記の「www.tastejapan.com」に誘導ができるようにしてあります。

会期中イベント

料理ショー

パビリオン入口に位置するキッチンにて、伝統的な日本料理やニューウェーブ料理など、マレーシアでも受け入れられるメニューを選んで、調理の実演、試食を行います。（日に2～3回程度） 試食を楽しんだ来場者はそのまま、パビリオン内に誘導されていく流れを考えております。

シェフは、現地 KL で「Ozeki」という現地の方々にも有名な日本食レストランの料理長をされている君島氏。（氏は2003年度のKL グルメフェアの優勝者でもあります）

メニューの選定にあたって、素材は極力出展物が使用されるものを選ぶつもりでおりますので、素材のご提供をお願い申し上げます。 出展者の皆様には個別にご相談させていただきます。

メニュー詳細や時間が決まりましたら、tastejapan.comに掲載します。

ハッピーアワー（プレス用）

主催者側のプレス担当と連絡を取り合い、会期1日目の夕方からプレス用に一時間のハッピーアワーを模様します。（簡単な料理と飲み物を供与）

様々なメディアに取り上げられる絶好の機会となりますので、積極的な応対をお願いします。訪れた記者がそのまま記事にできるように、あらかじめ興味を引きそうな原稿を用意しておくのは非常に効果的な手段です。

予定日時： 22日 17:00～18:00（変更の可能性あり）

ハッピーアワー（VIP 招待）

会期 2 日目の展示会終了後一時間くらいの間、VIP を招待したハッピーアワーを催します。
（上記同様、簡単な料理と飲み物を供与）

招待状をお送りする相手は、

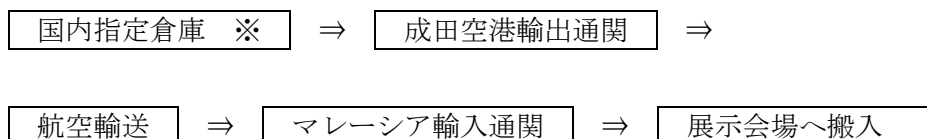
- 大手のバイヤー（事務局にて抽出）
- 日系の現地バイヤー（事務局にて抽出）
- 税関、農務局、衛生局など食品に関係する現地省庁関係者
- 出展者の皆様から会期中にご要望の上がる来場者（見込み客など）

日中の商談のフォローや情報交換など、日中とは違った落ち着いた雰囲気ビジネスの話をする機会となります。是非、積極的な対応をお願いいたします。

予定日時： 23日 18:00～19:00（変更の可能性あり）

輸送マニュアル

1. 基本輸送サービス内容



※ 国内指定倉庫搬入までは各出展者様のご手配、ご負担となります。

2. 出展に際しての注意事項

マレーシアはイスラム教国家であり、食品輸入に関し規制が多く、マレーシア輸入時に輸入ライセンスが必要な品目がございます。今回の出展に当たり、無事に展示会場までお届けする為、資料の提出など出展者様にはご理解とご協力をお願い致します。

規制については、後述の「マレーシア食品輸入規制について」をご覧ください。HARAL や輸入ライセンス等、詳細を記載しております。

特に、HARAL に関しては、食べることを禁じられている為、少しでも該当成分が含まれているだけでマレーシアにおいて輸入が出来ませんので、ご注意ください。

まず、出展商品を確定された出品者様は、添付「出展品リスト」と「航空貨物安全宣言書兼爆発物検査承諾書」を7月24までに<<書類送付先>>である千代田フォローディング営業所の担当3名宛にメールにてご送付下さい。

*その際、カタログや成分表など商品詳細の英文を合わせて送付願います。頂いた資料を元に現地当局へ問合せを行い、出展品に関する規制や必要書類等調査を致します。

*上記結果を受け、検疫等手続きに時間を要するような商品は事前にサンプル品を輸出する可能性もございます。費用に関しては、出展者様ご負担となりますのでご了承下さい。

3. スケジュールについて

出展品の輸送は下記2回のスケジュールにて予定しております。先の現地当局問合せにおいて輸入ライセンス等該当する出展者様においては、なるべくスケジュール①に間に合うようご手配の程宜しくお願い致します。

また、輸送航空会社は、FHM2007の協賛会社でもある「マレーシア航空」を使用致します。

<スケジュール①>

1. 書類について

7月27日(金)までに、後述の4.(1)通関に必要な書類

*提出先は4.(3)をご参照下さい。

2. 貨物について

8月6日(月)	PM2:00までに、弊社指定納入場所へ納品
8月7日(火)	AM中に、輸出梱包完了 PM検疫の申請 PM輸出申告・許可
8月8日(水)	MH089便10:30にて成田出発 現地時間16:40マレーシア到着
8月9日(木)	輸入申告開始

<スケジュール②>

1. 書類について 8月3日(金)までに、後述の4.(1)通関に必要な書類

*提出先は4.(3)をご参照下さい。

2. 貨物について

8月13日(月)	PM2:00までに、弊社指定納入場所へ納品
8月14日(火)	AM中に、輸出梱包完了 PM検疫の申請 PM輸出申告・許可
8月15日(水)	MH089便10:30にて成田出発 現地時間16:40マレーシア到着
8月16日(木)	輸入申告開始

4. 通関書類の準備と提出について

以下の通り、通関に必要な書類をご準備の上、期限までにご提出願います。

- (1) 提出が必要な通関書類

- ・ INVOICE・PACKING LIST
*当方で作成代行も可能ですので、お問合せ下さい。
- ・ 食品の成分表及びカタログ (英文・日本語)
- ・

- (2) その他提出が必要な書類

- ・ 航空貨物安全宣言書 兼 爆発物検査承諾書
(テロ対策により、輸出者様全てにおいて提出が義務付けられております)
- ・ 出展物リスト
(現地当局へ事前に規制及びライセンス等確認する為)

- (3) 提出先

株式会社近鉄エクスプレス 千代田フォワーディング営業所
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-23-2 神保町錦明ビルディング 4F
TEL : 03-3234-7601 FAX : 03-3288-4701
担当 : 寺尾 和記 E-mail : kazuki.terao@jp.kwe.com
宮崎 陽介 E-mail : yosuke.miyazaki@jp.kwe.com
尾原 聖子 E-mail : seiko.ohara@jp.kwe.com

(4) 通関書類準備に際しての注意事項等

- ・ INVOICE、PACKING LIST は、温度指定毎に作成願います。
- ・ 貨物品名 (Description of Goods) は、必ず英語で記載願います。
- ・ 出展品の価格は CIF 金額をご記入下さい。(CIF 金額=国内出荷価格の 110% でお願います。
- ・ カタログや装飾品又は事務用品など、出品の対象にならない物品やどんな些細な物品であっても、輸出する貨物は必ず全ての INVOICE、PACKING LIST に記載して下さい。

(税関検査で INVOICE、PACKING LIST に記載のない品物が同梱されていることが発見された場合、全ての貨物が税関にとめられることがありますので、十分にご注意下さい)

- ・ カタログや成分表など、日本側及びマレーシア側の通関の際に使用しますので、必ず英文にて記載したものをご用意下さい。英語版をお持ちでない場合は、詳細を英語にて記載した資料をご用意下さい。

5. 輸出梱包及び搬入先について

I. 温度指定貨物

- ① FHM2007 出品に関しては、常温・冷蔵 (+5℃)・冷凍 (-15℃) の3つの温度を用意しております。真夏の出荷ということもありますので、商品によっては高熱により腐敗や変色等問題が起こる可能性が危惧されます。必ず温度指定のご指示をお願い致します。
- ② 保管温度についてご心配な出展者様にはオプション (有料) として、外装カートン内に温度計を設置することが可能です。弊社指定倉庫搬入後より、輸送中・ブース到着までの間、記録し続けることが可能な温度計です。ご希望の方は、書類送付先の寺尾までお問合せ下さい。

- ③ 1社で二つ以上の温度（例：常温と冷蔵 etc.）で出荷される場合、輸送上の都合により温度毎に AWB を発行します。温度に応じて輸送費用が発生しますので、ご了承下さい。
- ④ 出荷元にて保冷材を入れる場合、成田でのリアイス作業も可能ですので、お問合せ下さい。

II. 搬入先

梱包済み・要梱包に関わらず、全ての貨物を下記へ搬入願います。

〒289-1603 千葉県山武郡芝山町大里字次木 60-1-4
近鉄航空配送株式会社 成田梱包センター
担当：横尾オペレーションマネジャー
TEL：0479-70-9433 FAX：0479-70-9488

*納品手配後、お手数です、輸送会社の送り状を寺尾まで FAX をお願い致します。

III. 梱包について

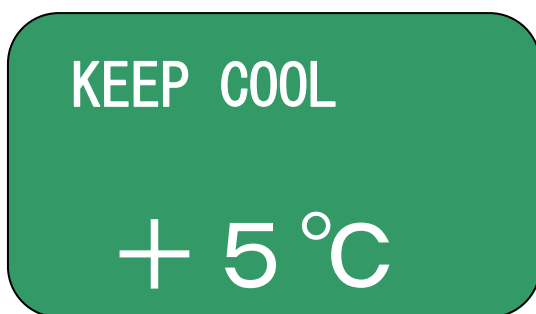
国内輸送と航空輸送では、貨物が受ける衝撃の度合いが異なります。安全に貨物を運ぶ為、搬入頂いた外装梱包の上から、さらに梱包をさせていただきますので、出展様は通常の国内出荷仕様梱包のまま、上記指定倉庫へ搬入下さい。

*搬入されたカートンの上からの梱包になりますので、弊社にてカートンを開けることは致しません。カートン内の過不足やダメージにつきましては責任を負いかねますのでご了承下さい。

IV. 温度表示について

搬入される外装に、下記温度表示ラベルを必ず貼り付けて搬入されますようお願い致します。

間違いを防ぐ為に、お手数ですが、常温の貨物であっても、常温のラベルを添付願います。



V. その他注意事項

各出展者様よりご依頼いただきました出展物は、弊社が責任を持ち、展示会場まで輸送を行いますが、弊社輸送約款の規定により、輸送中の中身の変質などについては、責任を負いかねます。航空輸送の約款規定による、外装ダメージによる中身の破損（変質ではありません）につきましては、最高 1KG 当たり、USD20.00 を保証致します。そのため、航空輸送をご依頼の出展者様の輸送につきましては、一般の輸送保険を付保させていただきます。

尚、一般の輸送保険でありましても、輸送中の中身の変質に対しては保険求償の対象とはなりません。

一般の輸送保険のご加入が不要の出展者様は、ご連絡願います。

6. マレーシア食品輸入規制

I. HALAL について

マレーシアはイスラム国家なので、マレーシアへ輸出する食品は、豚を食用にすることを禁じるイスラム教の戒律に違反しない食品でなくてはなりません。豚肉、豚油脂、ゼラチン（豚の骨髄由来）、アルコール（保存料）、調味用みりん、料理酒などを含有した HALAL 食品を避けることが絶対条件となります。

JAPAN パビリオンにひとつでも豚関連（エキスやそれを含む調味料も）がありますと、人口の 65%を占めるイスラム教徒は JAPAN パビリオンに立ち寄れないこととなります。そのため、イスラム教徒が問題なく JAPAN パビリオンに入れるよう、ブース前に【NON-HARAL】の看板を上げる必要があります。

上記事情により、加工品については特に、成分表をご確認いただき、上記成分が含まれていないか必ずチェックして下さい。

マレーシアの食品輸入規制は、大きく分けて下記 3 つに分類されます。

- ① 米、牛・羊の肉、砂糖に対しては輸入許可書（I/L）が必要で、「条件付き輸入が認められる」品目
- ② 粉乳と乳飲料、コーヒー豆、キャベツも輸入許可書（I/L）が必要ですが、国産品保護品目のため「輸入許可の発給が停止になる場合もある」品目
- ③ 家畜、小麦粉、生魚、牛乳・乳製品、動物性油脂、ソーセージ、野菜、酒類は「輸入方法など一定の条件の下で輸入が認められる」品目

*I/L について

お酒、お米 etc. 商品によっては、マレーシア税関に必要書類をそろえ、輸入許可書（I/L）の取得が必要となりますが、近鉄エクスプレス／マレーシアにて代理申請することが可能です。別途ご記入頂く用紙がございますので、ご連絡下さい。

II. 食品添加物について

国連食料農業機関（FAO）と世界保健機関（WHO）との合同食品添加物専門家委員会（JECFA）が安全性を評価している化学合成添加物や天然フルーツ系香料を使用する限り問題ありません。

III. 食品ラベル法について

マレーシアでは、食品ラベル法の施行により 2003 年 6 月 1 日から国産、輸入の乳製品、缶詰、パン、フルーツジュース、サラダドレッシング、マヨネーズ、ソフトドリンクなどに関して、エネルギー、脂肪たんぱく質、炭水化物の含有量の表

示が義務付けられています。

マレーシア税関より提出を求められた際、速やかに提出出来るよう英語表示にてご用意いたします。

1. 輸送費用について

輸送費用につきましては、別紙「航空輸出 輸送見積書」をご覧ください。

出展物の温度により、料金が異なって参りますので、ご注意願います。また、前述通り、温度に応じて輸送費用が発生します。

日本側費用とマレーシア側費用は、別々にご請求させていただく形（2回に分けて）になりますのでご了承下さい。